

令和5年度「音楽Ⅰ」シラバス

科目名	必修・選択	単位数	類型
音楽Ⅰ	選択	2	共通
教科書 副教材等	MOUSA1（教育芸術社）		

1 学習目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 学習概要

- 1 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- 2 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
- 3 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3 学習方法

(1) 授業への取組

表現領域では、さまざまな実技課題が出されます。個々のレベルに合わせて習熟できるよう時間を設定していますので、目標の達成に向けて進んで課題に取り組んでください。鑑賞領域では、聴くだけではなく音楽の構造や文化的・歴史的背景などについても学びます。音楽的な見方・考え方を身に付けましょう。

(2) 表現力を育むために

演奏の授業では、歌唱（独唱、合唱など）、器楽（ボディパーカッション、ギター、箏、三味線など）、創作の分野で、幅広い音楽体験ができるような学習計画になっています。さまざまなジャンルの音楽に挑戦して、視野を広げ、音楽を生涯楽しむきっかけを見つけましょう。また、授業では、自分たちでくりあげた演奏を発表したり、作品についてお互いに意見を交換したりする機会を設けています。様々な機会を通して、プレゼンテーション力や自己表現力を身に付けましょう。

4 評価について

(1) 評価方法

評価は、学習の取り組み状況（観察・聴取）、授業態度、実技における課題進度状況、学習プリントの記入状況、創作作品などをもとに総合的に判断して決定します。定期考査は行いません。毎時間の授業、題材ごとに行われる発表や実技テスト、学習プリントの提出などにしっかりと取り組みましょう。

また、成績が過去の音楽学習経験の有無によって大きく左右されることのないよう、授業における学習到達度によって評価します。

題材ごとに、「知識・技能（①）」、「思考・判断・表現（②）」、「主体的に学習に取り組む態度（③）」の3観点で評価を行います。

(2) 評価規準

	知識・技能（①）	思考・判断・表現（②）	主体的に学習に取り組む態度（③）
表現の 評価 基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり、曲想と楽器の音色や奏法との関わり、様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。【知識】</li> <li>・創意工夫を生かした歌唱表現、器楽表現、創作表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱、器楽、創作表現を創意工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的・協働的に歌唱、器楽、創作の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>

奏する技能、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付けている。【技能】		
---------------------------------------	--	--

	知識・技能 (①)	思考・判断・表現 (②)	主体的に学習に取り組む態度 (③)
鑑賞の評価基準	・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。【知識】	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

## 5 学習計画

学期	単元名	学習のねらい (内容のまとめりごと)	考査等
一学期	校歌を歌おう 豊かな声を響かせよう  ボディパーカッションに挑戦しよう  ボディパーカッションを創ろう	曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解し、表現意図をもって歌唱する。  曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わり、及び他者との調和を意識して演奏を創意工夫する。  表現で知覚したことを生かし、反復、変化などの手法を活用して、創作で表す。	実技テスト  実技発表  作品提出
二学期	クラシックギターを弾こう ギター・アンサンブルの愉しみ  世界の総合芸術に親しもう Ⅰ ミュージカル Ⅱ オペラ Ⅲ バレエ  世界の歌曲を歌おう ～シューベルトの作品と生涯～  世界の総合芸術に親しもう Ⅳ 歌舞伎 Ⅴ 能楽	曲想やギターの音色、奏法を生かし、音の重なりを味わいながらアンサンブルによる器楽表現をする。  それぞれの舞台芸術の音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解し、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。  曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりに関心を持ち、曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付けて歌唱表現する。  歌舞伎や能楽の音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心を持ち、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。	実技テスト  学習プリント  実技発表  学習プリント
三学期	和楽器を奏でよう 日本の音楽であそぼう	曲想と和楽器の音色や奏法との関わり、及び和楽器を使った様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解し、音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、表現意図をもって器楽表現する。	実技発表 学習プリント